

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第11回研修を開催しました！」

第11回の研修は、令和5年8月4日(金)、5日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修は、暑熱・台風対策に関する講義と、栽培野菜についての講義を行いました。

始めに、野菜の暑さによる障害とその対策を学び、土づくりをしっかり行い、健全な育成することが基本であること、また、露地栽培では、寒冷紗や白黒マルチ、ハウスでは循環扇などの資機材を利用し、それぞれ野菜に適した環境に近づけることの重要性を学びました。

猛暑が続く、暑さ対策が求められることが多くなるなか、受講生は、必要性を感じながら集中して、講義を聞いているようでした。

休憩を挟み、実習では、ハウスで、トマトの管理作業を行いました。前回と同様に収穫を行い、トマトトーン処理と並行して1段目より下の摘葉を行いました。摘葉は初めての作業でしたが、説明のあと、受講生はすぐにコツを掴み、

素早く終わることができました。

次に、実習ほ場で、ブロッコリーの定植とだいこんのは種、ねぎの追肥・土寄せ等の栽培野菜の管理を行いました。

定植前の畝立て、白黒マルチ張りの作業中には、「農作業では、一定のリズムで作業することが大切。」との指導員からのアドバイスを意識して作業しているようでした。その成果もあってか、非常に要領よく丁寧に、定植、は種までを完了することができました。

両日とも30度を超える猛暑の中での研修でしたが、無事、終了することができました。受講生の皆様、本当にお疲れさまでした。

次回の研修は、8月18日(金)、19日(土)に、花巻市葡萄が丘農業研究所の工藤英夫所長を外部講師としてお招きし、「岩手の果樹」に関する講義をいただき、また、実習では、はくさいとキャベツの定植を行う予定です。



講義「暑熱・台風対策について」の様子



だいこんのは種の様子



ブロッコリーの定植の様子



ねぎの追肥・土寄せの様子